

子ども・子育て支援に関するアンケート調査 ご協力のお願い

～ 小学1年生から3年生のお子さんの保護者の方へ ～

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
現在、市では「行田市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援に関する各種の事業に取り組んでおりますが、この度、2020年度から5カ年を計画期間とする第二期行田市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた準備を進めることといたしました。

この調査は、第二期計画策定のための基礎資料を得るため、市内にお住まいの子育て中の方を対象に、子育ての実態並びに子育てサービスについての利用状況や今後の利用希望等をおうかがいするものです。

また、回答いただくことにより、回答者個人が特定されたり、回答内容が漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

お忙しいところ、設問数が大変多い調査で誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年12月

行田市長 工藤 正司

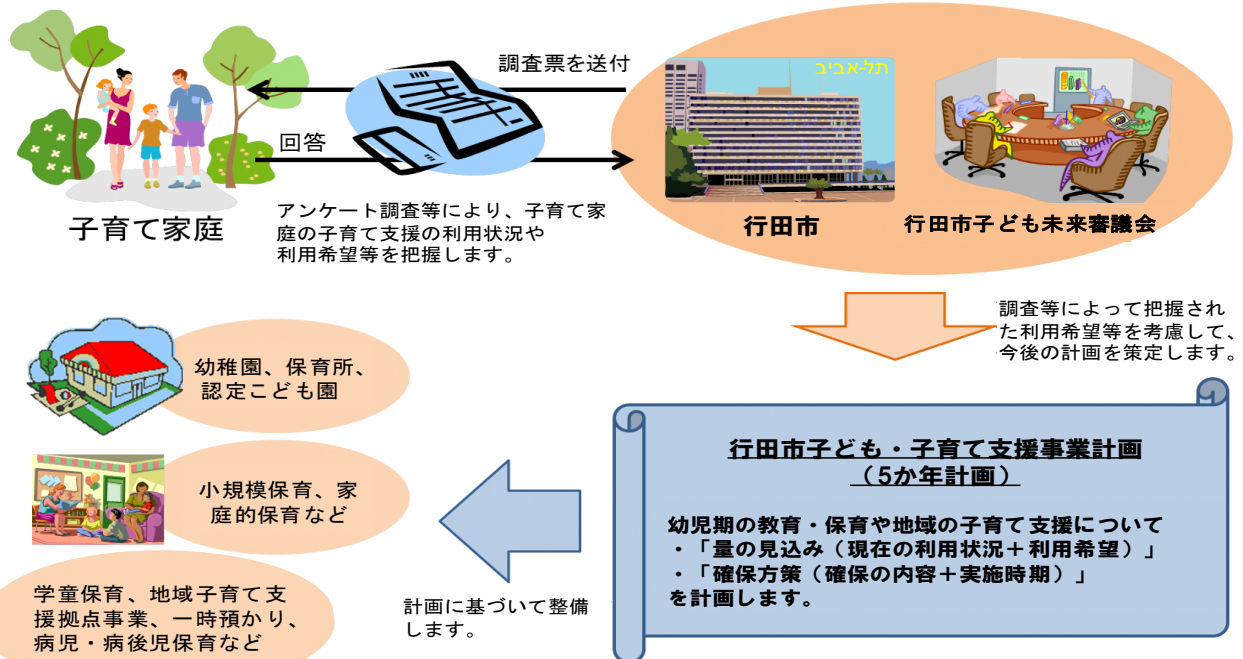
【ご記入にあたってのお願い】

- 1.このアンケートは、市内にお住まいの小学1年生から3年生までのお子さんの中から無作為で選ばせていただきお送りしています。封筒のあて名のお子さんについて、保護者の方にご記入をお願いします。
- 2.回答に選択肢がある場合は、あてはまる番号を○で囲んでください。○の数は、質問の中に示された（1つに○）とか（すべてに○）などの説明にしたがってください。
- 3.回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 4.数字（年齢や時間等）をおうかがいする質問では、枠内に具体的な数字をご記入ください。なお、時間については、24時間制（午後6時の場合は18時）でご記入ください。
- 5.質問によっては、回答していただく方が限られる場合があります。矢印や注意書きにご注意ください。
- 6.ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて平成31年1月●日（●）までにご投函ください。
なお、切手を貼る必要はありません。
- 7.ご不明な点及び調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

行田市健康福祉部子ども未来課

電話 048-556-1111（内線 262・263）

いただいた回答は子育て支援の充実に生かされます



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

用 語	定 義
子 育 て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。
教 育	問15までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問16以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。
幼 稚 園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して教育を行う施設。
保 育 所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設。
認定こども園	幼児教育と保育の機能を併せ持つ施設。
小規模保育事業	保育を必要とする満3歳未満の子どもの保育を、市町村の認可を受けた定員が6～19人の施設で行う事業。
家庭的保育事業	保育を必要とする満3歳未満の子どもの保育を、市町村の認可を受けた定員が5人以下の施設の家庭的な雰囲気もとで行う事業。
ナーサリールーム	児童福祉法に定める、市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設（都道府県知事の認可を受けていない施設）で、保育を必要とする0歳から就学前までの児童に対して保育を行う施設。
家庭保育室	児童福祉法に定める、市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設（都道府県知事の認可を受けていない施設）で、保育を必要とする生後6週間以上2歳未満までの児童に対して保育を行う施設。
病児・病後児保育	病気の児童又は病気の回復期にある児童を一時的に預かる保育施設。
ベビーシッター	深夜や休日といった通常保育では対応しきれない保育需要に対し、保護者からの依頼を受けてベビーシッターを派遣する制度。
学童保育室	保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員のもと、子どもに生活の場を提供する施設。

1 お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地域は、どの学校区ですか。(1)と(2)のそれぞれ当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(1) 小学校区

1. 東小学校区	2. 西小学校区	3. 中央小学校区
4. 南小学校区	5. 北小学校区	6. 北河原小学校区
7. 荒木小学校区	8. 須加小学校区	9. 埼玉小学校区
10. 星宮小学校区	11. 太田西小学校区	12. 太田東小学校区
13. 下忍小学校区	14. 泉小学校区	15. 桜ヶ丘小学校区
16. 南河原小学校区		

(2) 中学校区

1. 忍中学校区	2. 行田中学校区	3. 長野中学校区
4. 見沼中学校区	5. 埼玉中学校区	6. 太田中学校区
7. 西中学校区	8. 南河原中学校区	

問 1-1 小学校区、中学校区が不明な場合に限り、お住まいの地区名をご記入ください。

記入例： 本丸、長野〇丁目 など （地番等は記入不要です）

※問 1 の (1) (2) で小学校区、中学校区両方に○をつけていただいた方はご記入不要です。

行 田 市 ()

2 お子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問 4-1 母親及び父親の年齢について、それぞれあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. その他 ()
父親	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

1. 配偶者がいる

2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 父母ともに

2. 主に母親

3. 主に父親

4. 主に祖父母

5. その他()

3 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 父母ともに

2. 母親

3. 父親

4. 祖父母

5. 小学校

6. 学童保育室

7. その他()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境 すべて に○をつけてください。

1. 家庭

2. 地域

3. 小学校

4. 学童保育室

5. その他()

問9 子育てに関して悩んでいること、又は気になることはありますか。あてはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 子どもの病気や発育・発達

2. 子どもの障がいに関すること

3. 子どものしつけの方法がよくわからない

4. 子どもの接し方に自信が持てない

5. 話し相手や相談相手がいらない

6. 仕事や自分のやりたいことができない

7. 学校に登校したがない

8. 特にない

9. その他()

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる

2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる

3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる

4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる

5. いずれもない

⇒ 問10-1へ

⇒ 問10-2へ

⇒ 問11へ

問 10-1 問 10 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問 10-2 問 10 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問 11-1 へ

2. いない／ない ⇒ 問 12 へ

問 11-1 問 11 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点施設、児童センター） |
| 5. 保健所・保健センター | 6. お子さんが卒園した保育所、幼稚園等 |
| 7. 小学校 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 学童保育室 |
| 11. 自治体の子育て関連担当窓口 | 12. その他【【例】NPO 法人】 |

問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

4 お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問 13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---|--------------|
| 1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ (1) -1 へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ (2) へ |
| 6. 今まで就労したことがない | |

(1) -1 (1) で「1」～「4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間

(1) -2 (1) で「1」～「4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

家を出る時刻 □ □ 時 帰宅時刻 □ □ 時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------|
| 1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない | } ⇒ (2) -1 へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ 問 15 へ |
| 6. 今まで就労したことがない | |

(2) -1 (2) で「1」～「4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

1 週当たり □ 日 1 日当たり □ □ 時間

- (2) -2 (2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻

 時

帰宅時刻

 時

問14 問13の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問15 問13の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.今まで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり

 日

1日当たり

 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり

 日

1日当たり

 時間

5 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問 16 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

利用している事業・日数（年間）	
1. ファミリー・サポート・センター （保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業）	日
2. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	日
3. その他（ ）	日
4. 利用していない	

⇒ 問 17 へ

問 16 で「4. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 16-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. その他（ ） | |

問 17 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字））。

1. 利用したい		計 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）	ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	日
	ウ. 不定期の就労	日
	エ. その他（ ）	日
2. 利用する必要はない ⇒ 問18へ		

問 17-1 へ

問 17-1 問 17 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 17 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを預かる事業（例：児童養護施設等）
2. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
3. その他（ ）

問 18 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この 1 年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1 年間の対処方法	日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	☐ ☐ 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	☐ ☐ 泊
	ウ. 子どもを同行させた	☐ ☐ 泊
	エ. 子どもだけで留守番をさせた	☐ ☐ 泊
	オ. その他（ ）	☐ ☐ 泊
2. なかった		

問 18 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
⇒ア. 以外を選択した方は 問 19 へ

問 18-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

6 お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問 19 現在、宛名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育室」の場合には、利用している時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「学童保育室」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

1. 自宅	週		日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
4. 放課後子ども教室 ※	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
5. 学童保育室	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
7. その他（公民館、公園など）	週		日くらい	→ 放課後から 時まで

※ 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 20 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育室」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週		日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
4. 放課後子ども教室	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
5. 学童保育室	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週		日くらい	→ 放課後から 時まで
7. その他（公民館、公園など）	週		日くらい	→ 放課後から 時まで

問 21 問 19 または問 20 で「5. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育室の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	⇒	利用したい時間帯	
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい			時から	時まで
3. 利用する必要はない				

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	⇒	利用したい時間帯	
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい			時から	時まで
3. 利用する必要はない				

問 22 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休みなどの休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	}	⇒	利用したい時間帯	
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい			時から	時まで
3. 利用する必要はない				

7 児童虐待についてうかがいます

問 23 あなたは児童虐待について、関心をお持ちですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 関心がある | 2. 関心がない |
|----------|----------|

問 23-1 あなたが児童虐待と感じるものは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 子どもに病気の治療を受けさせない | 2. 言葉による脅しや乱暴な言葉を使う |
| 3. 子どもの目の前で配偶者に暴力を振るう | 4. 子どもにわいせつな物を見せる、被写体にする |
| 5. ひどく不潔にする | 6. 食事を与えない |
| 7. 子どもだけを家に残して外出する | 8. 兄弟間で差別的に扱う |

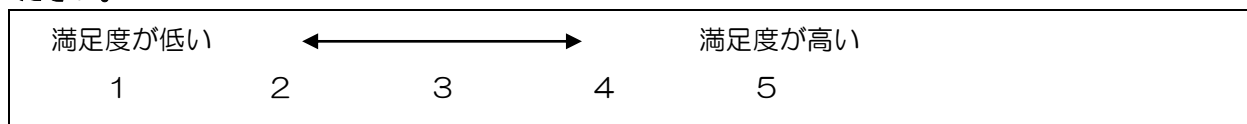
問 23-2 児童虐待が起こる原因について、あなたのお考えに近い番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者に被虐待歴がある（保護者が子どもの頃に虐待を受けていた等）
2. 保護者に施設入所経験がある
3. 保護者に精神疾患がある
4. 保護者に依存症（酒・薬等）がある
5. 保護者に育児協力者がいない
6. 保護者が地域から孤立している
7. 保護者が経済的に困窮している
8. 夫婦・家族間に問題がある（DV・別居等）
9. 望まない妊娠や出産
10. 子ども側に要因がある（病気、障がい、落ち着きがない等）
11. その他（ ）

問 23-3 児童虐待を防止するために必要なことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関（市役所、児童相談所、警察）に通報する
2. 関係機関による迅速な介入や適切な支援
3. 関係機関や地域で子育て家庭を支援、見守る
4. 虐待した人を厳しく注意する、罰する
5. その他（ ）

問24 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。



問 25 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。